

はじめの一步



新潟県立小出特別支援学校進路指導部
NO. 107 (令和4年12月23日)

取組のその先に…

進路指導主事 細井哲明



学期が終わりに近づくにつれ、一気に雪模様となりました。魚沼の冬本番を迎えます。年末年始、感染予防だけでなく、積雪による安全にも配慮してください。

2学期にたくさんの活動と学びがありました。御家庭でも様々なことに取り組まれていたかと思います。学期末になり、ひとりひとりの子どもたちの確実な成長が見られています。毎日の取組を続け、成長を積み重ねられることは、とても素晴らしいことです。

そして、順調だからこそ「なぜ、今このことに取り組んでいるの?」と、何のために取り組んでいるのかを、考えてもらえればと思います。毎日の取組に積極的に向き合い、キャリアを積み上げ、さらなる成長につなげていくために、考え、整理して、明確に言語化しておくことが大切です。それは、小学部、中学部、高等部のどのライフステージにも必要なことです。必ず、将来の目指す姿(進路)に向かって、「意味ある取組」と価値付けてくれるはずですよ。

この冬休み、ぜひ御家族で「どうして今この課題に取り組んでいるんだろう?」「なぜこの体験が必要なんだろう?」と、今の取組について考え、話し合ってみてください。成長の道筋、将来の夢が見えてくると思います。

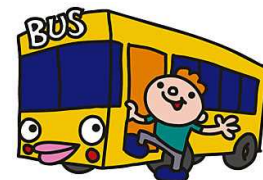


現場実習・校内実習の保護者の皆さんの声

10月24日～11月18日までの期間、高等部では現場実習・校内実習が行われました。保護者の皆様からは御支援御協力のほどありがとうございました。長い期間の実習で見えてきたこともあったようです。保護者の皆様の声をまとめました。

1 今回の実習でお子さんにどのような成長が見られましたか? 御家族が感じたことをお聞かせください。

- ・初めての現場実習で緊張していた様子でしたが、嫌がることもなく、言われなくても毎日準備している姿に、成長を感じました。
- ・朝、目覚ましをセットして一人で起きることができました。
- ・成長といたしましょうか、うちの子はあまり変動がないということが、改めてわかりました。現場実習等で何かあったとしても、もしかしたら家に帰ってきたら気づいてやれないことがあるのかなと気づきました。本人はどんなことがあっても、深刻に考える程の能力がないということもあると思いますが、家では毎日リラックスして過ごせることを大事にしてやりたいです。
- ・自分から質問する場面がみられるようになりました。
- ・実習では、よくここまで頑張れたと感じています。入所している為、帰省時にしか本人の様子を感じることができませんでしたが、少しイライラや当たりが強かったなど感じました。でも学校に向かえば、それなりにやるべきことをくじけずやりとげたこと、褒めてあげたいです。
- ・受け答えが以前よりはっきりしたように思います。
- ・時間厳守、返事、あいさつがしっかりとできていたようで正直驚いています。毎日緊張感をもって事業所さんに出勤し、色々な方の仕事ぶりを見て自分も目標をもって、仕事をしていたと思います。
- ・登校している時よりも、バスの待ち時間が長く、帰り時間が遅かったのですが、「仕事をするようになれば、これが当たり前なのだろう」と本人が思って頑張っていたので、成長したと思いました。
- ・高等部になって実習を繰り返すごとに、仕事に慣れて安定してくるようになったと思います。改めて実習の重要性を感じました。
- ・初めて公共交通機関を乗り継いで、自分の力で実習へいくことができました。屋外での作業が多く大変だったと思いますが、最後まで責任感をもって頑張ったと思います。
- ・学校とは違い長い時間勤務で大変だったと思うし、大勢の前でのあいさつは緊張したと思います。頑張った分、良い経験ができました。帰宅連絡を通じて、電話のかけ方や会話がとても上手にできるようになったと思いました。
- ・初日から、翌日のことを考えて早く寝ようと、生活のリズムをつくっていました。実習期間をしっかりとやり切ろうとする姿勢や気持ちがみられました。
- ・以前より言ったことを覚えているように見えました。苦手なものにおびえることが減りました。
- ・表情が良くなってきて、笑顔が多くなってきました。他にも手を動かしたり、顔を動かしたり、自分なりの表現を少しずつ増やしているように見えました。
- ・現場実習に向け、バスや電車に乗ることができ、困ったことがあっても運転士の方に聞いて対応していました。いつもと違うことが起きても、自分で行動が出来たことはとても大きな一歩でした。



2 今回の実習を機会に、保護者の方が学んだことや感じたことをお聞かせください。

- 初めて現場実習でしたので、休まず通うことができただけで十分です。でも今後は「本人が何をやりたいか」、それが実際「毎日長期的に続けていくことができるのか」等々、考えていきたいと思えます。
- 実習先を見学させてもらいました。大変そうな作業でしたが、子どもは「慣れれば簡単」と言っていて、凄いと感じました。
- 初めてのことで「やればできる」ということ！
- 今回、校内実習の頑張りを面談の時に聞かせていただき、「家庭内でも何か一つの作業を集中してさせることができない物かな…」と考えています。好きなことをしてリラックスしたい時間が最優先になるかと思うのですが、今後何かつなげていければと感じています。
- 事前挨拶の時には、本人も緊張していたり、トイレの心配があったりしましたが、思っていた以上に実習にしっかり取り組んでおり、帰宅後もいつも通りで落ち着いていたことに驚きました。実際にしていたことを、動画などで見せていただけるとありがたいと思いました。
- 実習が初めて、バスに一人で乗るのも初めてと初めてづくしで、親は心配でした。ですが、結果として、「案外できるものだな」と感じました。いつまでも子どもで、人より何もできないと思いついていたのかもかもしれません。毎日、御指導いただいている支援学校の先生方のおかげと感謝いたします。子どもを信じてこれからもサポートしようと思いました。
- 学校とは違う場所で1日過ごすことは心配でしたが、親が思うより「子ども（本人）はちゃんと仕事をするという自覚をもっていた」ということが、一番学んだことでした。
- 「難しいかな…」、「疲れて機嫌が悪くなるかな…」などと心配していたのですが、親の心配よりも子どもは頑張ってくれるのだと気付かされました。（もちろんできないことは、まだまだたくさんあるのですが…）そして、日々の学校での授業や生活が、実習の時に活かされていると感じることがありました。（時間を守ろうとしたり、報告できたりする姿が見られたので）
- 交通機関の乗り方は心配ないですが、定期券、乗車券の購入方法、時刻表を見ての乗り継ぎ方法の確認が、自分でできるようにしていかなければならないと思えます。
- 仕事から帰ってきて、食べ終わった弁当箱を自分で洗っていたり、作業服も自分でたたんだりしていて、「自分でできるんだ」と学びました。
- 「実習期間をやりきる」という目標を真剣に考えていて、周りと同じく「できたい」、「やりたい」が強い子なのだと改めて感じました。本人自身が少しずつ成長していることを認めて、伸びていってほしいと思えます。
- 気が付きにくいけれど、周りの人の行動をよく見ているようで、作業のやり方を工夫していると連絡を聞き、ありがたかったです。周りの人や支援する人のやり方で、伸びるのか、ダメになるのかが変わってしまうことも考えられるので、働く上での配慮は大切だと思いました。
- 校内実習を中心でしたが、いろいろやっていただいて、表現が増えてきたことは良かったと思えます。より学校が好きになったなと思えます。まだまだ可能性を秘めている…かな？
- 実習で経験したことが、とても自信につながっているということがわかりました。実習先の仕事内容が本人に合っていたこともあり、周りの人を観察できる余裕ができたり、夕食時にはその日の出来事を話してくれたりしました。「疲れた」とは言いましたが、規則正しい生活や前日の準備も自分からきちんとして、成長を感じました。



一つ一つの機会を、本人がいかにか意識して行えるか、周りの人たちがいかにか本人を理解して支えていけるか、実習だけでなく毎日の学習や経験が本人の成長や力の積み上げになります。ちょっとしたことを気付いたり、考えたりすることが次の一歩が見えてくるかもしれません。

現場のみなさんの声



長期の現場実習に協力していただいた地域の皆様、教育活動に御協力頂きありがとうございます。今回、現場の皆様からの声を集約しました。一部をお届けします。地域での生活を目指す上で、参考にして頂ければ幸いです。（企業と福祉事業所と両方の内容があります）

1 今回の実習を受け入れて、良かったことがありましたら教えてください。

- コロナ禍で外部との交流が少ない状況で、実習生と一緒に時間を過ごせ、利用者のみなさんも意欲的に日々活動ができていたと思います。
- 春とは異なる環境や事業の実習を経験していただき、支援者側として本人に必要な支援や強みを活かした活動への取り組みを考えながら接し、安心して過ごしていただけたことが良かったです。
- 前向きな思いを感じ取れました。
- 重度の方への活動の進め方や、先生の対応の仕方等見ることができ、勉強になりました。事前の打ち合わせもあり、落ち着いて過ごせる場所（環境設定）を提供することができました。まだまだ色々な対応ができる可能性を感じられて良かったです。
- 多くの実習生を受け入れ、一人一人の持つ力に合わせて対応させていただきました。今後も個々に合った打ち合わせをさせていただきます。
- 特別支援学校を卒業した先輩達が、後輩を気遣う姿は新たな発見でした。
- 実習を受け入れることで「将来の雇用につなぐことができるか」を判断ができました。
- 最初は障害のある方を受け入れるということで心配でしたが、素直で真面目な生徒さんで、障害のある方への見方が変わりました。
- 日頃の何気ないコミュニケーションでも、丁寧に説明しないと伝わらないことを学び、従業員間の意識の変化がありました。
- 普段他人のことを気にしない利用者が、実習生が紐を結ぶ作業を頑張っている姿を見て、さりげなく結びやすい紐に交換をしていました。利用者も、良い影響を受けていると感じる一場面でした。
- 実習生の昔の姿を知っている者がおり、成長した姿を見られて喜んでおりました。



2 今回の実習を受け入れて困ったこと、不都合なことがありましたら教えてください。

- 実習生の特性や行動範囲等、支援者はある程度の把握・理解をして対処することができましたが、他の一緒に働く皆さんへの説明や実際の対応には、実習期間中ではつながりにくいものがありました。
- 落ち着かなくなった際の対応については、支援の仕方だけでなく、時に筋力も必要であると感じました。
- 初めて実習を受け入れました。働く場には多数のセクションがあり、実習生の実態や能力にあった業務の事前調整や特性理解を求めることに苦労がありました。実習が上手くいき良かったです。
- コミュニケーションの難しさを感じました。
- 事前に打ち合わせさせていただいていましたが、できる仕事の内容や能率について、想定していたものと若干相違していた部分があり、担当者がつきっきりになる場面がありました。

3 生徒の様子から感じたこと、求めたいことについて御見ください。

- 学校生活の中でも、挨拶や先生の話をよく聞いて行動ができていたのだと感じました。実習を前向きに頑張っていることが伝わってきました。
- 事業所では常にマンツーマン対応はできないため、一人でも身近なことや指示された内容を「適切に行える」ということが、増えることを期待します。
- 皆さん挨拶が良く、受け答えも良かったです。実習生を見て、他の利用者の



刺激にもなっていたと思います。

- ・障害の有無にかかわらず、大人と話しができる人になってもらいたいです。
- ・「卒業したら社会に出て働く」という意識をしっかりと持っている姿に、先生方の御指導を感じました。
- ・実習を通じて、仕事に対する熱心さと、職場への愛着が湧いてきたように感じました。次回の実習を本人が希望する場合は、ぜひ受け入れをしたいと思います。
- ・繰り返し作業が得意で、日に日にスピードUPして感心しました。
- ・実際に通って働くとなると、通勤の問題や安全面に不安があります。
- ・本人の表情から、感情が伝わってこない様に思いました。「話す相手の方を向く」、「ハキハキと元気に答える」ことが加わると良いと思いました。
- ・指示されたことを復唱してもらうと、好感度や信頼度が上がるとアドバイスさせていただきました。
- ・周囲の利用者の様子を見て、流されてしまう傾向がありました。(利用者それぞれ理由があって作業を休んでいるのに、まねして実習生も休んでしまう等) 指示された業務とは別の行動をとってしまうことがあり、自分で取り組むべきことに集中できると良いと思いました。

4 実習中の保護者の対応等で感じたこと、家庭に求めたいことがあれば教えてください。

- ・実習日誌を毎日確認して頂いたので、連絡等がスムーズでした。
- ・実習中の自宅での様子を実習ノートに記載していただき、その内容を元に本人と体調のを確認することができ、大変良かったです。
- ・お伝えした出勤、退勤時間が安定しなかったため、次回受け入れることがあればお手紙などで明確に示したいと思っています。
- ・職場への毎日の送迎感謝申し上げます。
- ・弁当作り御苦労様でした。毎日おいしそうに食べていました。
- ・朝に本人の様子など、しっかりと情報を伝えて頂けて良かった。ちょっとした情報の共有が大切なのでありがたかったです。
- ・コロナウイルス感染対策や、実習前の検査、実習中の体調管理等に御理解、御協力いただきありがとうございます。
- ・受け入れ前に保護者からも見学してもらい、職場環境や業務内容を事前に知ってもらいたいです。今回は事前に見学してもらい助かりました。
- ・基本の生活習慣の定着や健康管理が行えるよう、普段からの見守り、声掛けをお願いします。
- ・一生懸命頑張っていましたので、褒めてあげてください。



5 学校職員の事前打合せや巡回指導の様子、生徒への指導内容等について、感じたことや御意見を御記入ください。

- ・現場職員へ御本人の情報提供や支援の方法等、直接教えていただきありがとうございます。
- ・生徒一人一人の将来の為に御尽力されておられる姿に感銘致しました。
- ・毎回のことで、丁寧な事前打ち合わせの場、巡回指導の時間を設定していただき、安心して受け入れができています。
- ・事前の職場見学や仕事内容の把握をしてもらうことで、業務内容を知ってもらったことは非常に助かりました。
- ・丁寧に説明頂き、スムーズに進行できました。学校での様子等も質問すると丁寧に教えて頂きました。事前打ち合わせは十分だと思います。巡回回数や指導内容も良いと思います。
- ・引き続き、家族や学校、支援機関などと連携して、その人らしい生活が実現できるよう協力体制をもち、支援していけるよう関わらせていただきたいと思います。

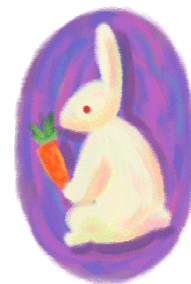


< 1月の研修について >

下記の日程でPTA研修が予定されています。将来お子さんが一人で生活する際に、活用できる制度を知る機会となります。学部問わず御参加いただきたいと思います。参加は事前申込みになりますので、すでに配布している用紙を御確認の上、申込みください。

テーマ	子どもたちの将来に向けて知ろう
日時	令和5年1月30日(月) 13:10~14:45 (受付:12:50より)
内容	①成年後見制度について ~魚沼市社会福祉協議会 様 より~ ②障害基礎年金について ~長岡年金事務所 様 より~ ③権利擁護の制度活用について ~支援者による事例紹介~

※実施に伴い、同時期に予定されていた進路教室(1/19)を取りやめることに致しました。参加を御希望されていた皆様には申し訳ありません。振替えについては、降雪の時期でもありますので検討中です。実施の見通しがとれましたら、お知らせさせていただきます。



今まで発行した進路だよりは当校のホームページに掲載しています。是非、御覧ください。

URL <http://www.koide-tk.nein.ed.jp/course.html>

新潟県立小出特別支援学校 進路指導部(細井哲明) TEL 025-792-5412

お問合せ等がございましたら、進路指導部まで御連絡ください。

